

アロエの育て方

アロエ・・・原産地：南アフリカ
ユリ科、多肉性の多年草、または低木、高木

年間作業カレンダー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
置き場	室内				戸外						室内	
作業			植え付け・仕立て直し (1～10日間かかる作業です)									
水やり	控えめ				表土が乾いたら						控えめ	
肥料				置き肥								

「医者いらず」の名前で知られており、健康食品や化粧品などにも利用されている植物です。育てやすく、最近もテレビの情報番組でも取り上げられ、効能などが注目されています。

アロエの仲間は手のひらにのるくらい小さなものから、10mに達するほど大きなものまで、約400種類以上あります。

※関東以西基準

アロエの種類 (代表的なアロエ)

キダチアロエ

最も普及しているアロエです。昔からやけどや虫刺され、葉を生食したり飲むなどの健康食品として利用されています。



アロエ・ベラ

肉厚で、大きくなると70～80cm位の葉になります。寒さに弱いので、冬季は室内で管理します。アロエ入り食品に使われています。



アロエ<不夜城>

コンパクトで育てやすく丈夫なアロエで薬効もあります。どちらかと言えば観賞向けです。



アロエ<千代田錦>

薬効はあまりなく、主に観賞向けです。三角の葉を三方に重ねた形で、白色の横縞模様が特徴です。



アロエの管理

	<春から秋>	<冬>	<注意点>
置き場所	日なたで管理する。	室内の日なたで管理する ※絶対に凍らせないようにすること。	長く室内で管理していたものを急に夏の強い日差しに当てると葉焼けする。
水やり	土が乾いていたらたっぷり与える。	やや乾燥気味にする。	与え過ぎは根腐れをおこしやすくする。
肥料	固形の油かすや緩効性化成肥料を置き肥として施す。	肥料も水やりも控える。	

用土

水はけが良く、保水力もあり、有機質を含んだものを使います。赤玉土、腐葉土、砂を配合したものが良いでしょう。
【砂4：赤玉土3：鹿沼土1：腐葉土2】の割合が目安です。

株の仕立て直し

樹形が乱れてきたり、鉢の中で葉や株が込み合っている場合に行ないます。暖かい4月～9月頃が適期です。

【キダチアロエの場合】

鉢から抜き、成長した元気のよい子株を選んで間引きします。



間引きした子株は根を短めに切ります。



大株は上の方から20～30cm位に切り、挿し穂にします。土に挿す部分の葉を取り除きます。



7～10日ほど日陰などで切り口を乾かし、十分に乾いたら植えます。

【アロエ・ベラの場合】

キダチアロエと同様に、鉢から抜いて鉢土を落とし、子株を分けます。



大株の根元の傷んだ葉や、利用した葉の残りなどを取り除きます。



大株、子株それぞれ根を短めに切って、日陰で7～10日間ほど乾かします。



切断面が乾いたら、株の大きさに合わせて大きすぎない鉢にやや深めに植えます。

MEMO

植付け後
(キダチアロエもアロエ・ベラも同様)
切り口の根腐れを防ぐために水は与えずに、1週間ほど明るい日陰で管理します。その後から水やりを開始し、日なたに置きます。

切り株を植えて楽しむ

ホームセンターや園芸店などで売られているキダチアロエの切り株も鉢植えにして楽しむことができます。「キダチアロエの仕立て直し」と同じく、土に挿す1部分の葉を取り除き、7～10日間ほど乾かしてから、鉢に植えます。

